

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360

TARO KAMINO

c/o CHUBU GAS CO., LTD.
100 SHIRAKAWA-CHO, TOYOHASHI, AICHI, JAPAN



No. 6 (November 15, 1965)

昭和40年11月15日

第360区各ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー第360区ガバナー

神野太郎



(大会風景)

西日本連合地区年次大会

West Japan Joint Annual District Conference

国際ロータリー創立60周年を記念する西日本連合地区年次大会は、去る10月22日の前夜懇談会を皮切りに、23、24日にわたり、秋色深みゆく日本の古都京都に於て開催されました。

この大会は、ロータリーの未来への発展を目指す“明日に培おう”(Build for the Future)という大会テーマを掲げ、多彩な行事の全てが、このテーマに集約されておりました。

10月22日 前夜懇談会開催の当日は、有名な時代祭の第1日に当り、R.I.会長代理ペッテンギル夫妻を始め、全国から集まったロータリアンと家族は、京都御所の特別観覧席に続々と集まり、晴れわたっ

た秋空の下で、印象の深い半日を過ごすことができました。前夜懇談会は、祇園歌舞練場で午後3時30分に開会、リーダーは360区直前パストガバナー安野謙次さん、地区内クラブの出席者は会長、幹事に限られましたが、協議懇談に引続いて、R.I.会長代理ペッテンギルさんのご挨拶があり、5時40分に終了しました。閉会後の余興は、井上八千代さんの京舞があり、大会前夜から参会者はすっかり京都ならではの雰囲気に魅了されました。

大会第1日は、京都市体育館、第2日は京都会館と会場が移動し、その設営や趣向が一変しました。とくに第2日の会場前には、友愛の家(京都勧業館)が設けられ、その前庭は祇園祭の山鉾の一つである“菊水鉾”で飾られて、すばらしい環境をつくりっていました。友愛の家に一歩入ると、その広場には赤

もうせんの縁台が並んで、京の味、京の名産はもとより、京都の伝統産業の実演、名物催し物の数々など、京の粋を一堂に集めたその豪華多催な設備には目を見張るばかりでした。

西日本連合地区年次大会は、形態、内容ともに充実し、新らしい数々の創意工夫に満ちて、長く印象に残る大会でした。



友愛の家に於ける 360区出席優秀クラブの表彰



友愛の家風景

大会の内容については、出席会員から夫々のクラブに報告され、さらにクラブ・アッセムブリーによって充分ご承知になったことと思いますので省略致します。

なお、参加者は 7,626 名で、その内訳は次の通りです。

地 区 内 ク ラ ブ 数	出 席 ク ラ ブ 数	出 席 会 員	出 席 会 員 家
360区 79	79	917	420
365 69	69	1,722	708
368 65	65	1,061	464
369 50	50	521	291
370 72	72	651	447
ゲストロータリアン		60	47
海外よりのゲスト		45	2
財団奨学生、交換学生			14
東日本 6 地区よりの参加者	148		108
計	5,125	2,501	
参加者合計			7,626

大会成功に対する感謝

私どもは、本大会のすばらしい大成功の源動力になった方々に対して心からお礼を申し上げたいと思

います。まず、ペッテンギルR.I.会長代理ご夫妻は東日本連合地区大会から引続いて本大会にも連日ご列席を頂き、とくに大会第1日のペッテンギルさんのアドレスは日本のロータリアンにとって本年最高のプレゼントでした。このアドレスは60周年記念として開かれた本大会に於いてとりわけ重要な意義を持つものであったと信じ、心から感謝を申し上げたいと思います。

次に、本大会の大成功の裏に、ホストクラブの京都都ロータリークラブが、約1カ年の間、本大会のための準備がづけられ、細かい心くばりによって、日本人の心のふるさと京都にふさわしい精選されたアイディアを生み出されたご努力、とくに大倉大会委員長と西村大会幹事のご心労とご苦心は並大抵なものではなかったであろうとお察し申上げ、心から敬意と感謝を捧げます。また、ホストクラブとして京都東、京都北、京都西、京都南の各ロータリークラブのご協力に対してもお礼を申し上げます。

なお、ホスト地区ガバナーとして岡島 365区ガバナーのご高配に対して深く感謝致したいと存じます。

本大会が東日本連合地区大会と共に、ロータリー創立60周年記念として大成功裡に終了致しましたことは、明日の日本に於けるロータリー発展の一大契機になりますことを心から祈ってやみません。



大会第1日、新クラブの紹介がありました。360区の新クラブの中で、金沢西クラブの青いハンカチーフによるあいさつ、岡崎南クラブの唐傘によるあいさつ、轟井沢クラブの風船のあいさつ、その新趣向、ご苦心は満場の参会者に素晴らしい印象を残しました。

第360区 ガバナーノミニー決定（1966～67）

第360区の次年度ガバナーノミニーに金沢 R.C. の岡田良介君が、西日本連合地区大会に於て、当地區指名委員会決定通り、正式に承認されましたから、お知らせします。

西日本大会に於ける決議事項

Resolutions Adopted at West Japan Joint District Conference

この大会では次の8項目の決議が、夫々満場一致で採択されました。

(1)国際ロータリー会長代理派遣に関し感謝の件、
(2)日本におけるロータリーの開拓者及び指導者に対し感謝の件、(3)ロータリー60年を契機とし、国際ロータリーの組織及び会員活動を強化する件、(4)国土を緑と花で美しくする運動推進の件、(5)直前ガバナーに対し感謝の件、(6)米山記念奨学会に未加入の若干クラブに対し加入を奨める件、(7)ホストクラブ及びコホストクラブ並びに関係諸官庁、諸団体に対する感謝の件、(8)次年度開催地の件

これらの決議の内容は、すでに各クラブとも出席者によって充分伝達ずみのことと思いますが、決議3、4、8号はとくに重要なことでありますから、ここに掲載してご参考に供します。

〔決議第3号=ロータリー60年を契機とし、国際ロータリーの組織及び会員活動を強化する件〕ロータリー創立60年を迎えるにあたり、世界におけるロータリーの発展の顕著なる反面、その組織において現状に適合せざる点が少なからず、またその活動においてなお反省改善を要する点が多いことを痛感する。とくにR.C.の地理的分布が著しい変化をとげているにもかかわらず、国際ロータリーの理事会の構成員数は1931年以降何ら改正されることなく、また理事指名の母体としての現在の地帶、地理的集団及び地域は国際ロータリーの公式なる運営に妥当を欠くおそれが充分にある。

また、R.C.の活動は本来各会員個人による活動の展開を特色とするものであるが、ロータリークラブの量的増加に伴いややもすれば会員自身による活動の展開に積極性を欠き、いたずらに社会的威信を誇るに止まり、形式に走り社会に密着した具体的な実践活動の展開に迫力を欠くところがある。今にして創立の精神に立帰えり会員各自による積極的な奉仕活動の実行を奨励せんば明日のロータリーはいたずらに会員の数の大なるを誇るに止まり社会に寄与するところ少く単なる社交クラブと墮する危険が充分にある。

よって本大会は、①国際ロータリーに対しその組織を現状に適合すべく理事会の構成員を増加し、その指名母体たる現在の地帶、地理的集団及び地域を検討し、国際ロータリーの公正なる運営を期待しう

るよう改善するため、6名の特別委員会を構成し、この問題を討議する。②ロータリアンひとりひとりがよくロータリーの綱領を理解体得し、自らの発意によって奉仕の理想を一般社会に具体化する活動を積極的に展開し、1965～66年度国際ロータリー会長ティーンストラ氏の方針にのっとり過去の計画を検討して、その業績を統合し継続すると共に新しい決意と行動をもって明日のロータリーを培うことをここに決議する。

〔決議第4号=国土を緑と花で美しくする運動推進の件〕 緑樹と花は人間に対し希望と慰めを与える健全なる精神の培養に欠くべからざるものである。しかるに我国では戦後綠樹と花を愛護する精神が稀薄となり、その育成がおろそかとなる一方産業化の影響と病虫害による衰退は甚しいものがある。とくに都会におけるその傾向は著しく生活環境にうるおいを失った結果はみずから次代の国家を荷う青少年の情操の上に好ましからぬ影響を与えることを憂える。かゝる状態を是正し、各自の生活環境を綠樹と花によって美化することは、思想、宗教、地位、職業の如何を問わず万人の希求する所であり、ロータリークラブこそはかかる活動を推進するに最もふさわしいものであることを信じるものである。

よって本大会は国土を緑と花で美しくする運動を奨励し、地区各ロータリークラブが会員の自主的な発意と関係者の協力によりその所在する地域社会、その所属する職場、その生活する家庭においてそれぞれ朝夕これを愛護育成し、静かに観賞する心ばせを持ち、たたずまいを正しくするよう活動を推進することをここに決議する。

〔決議第8号=次年度開催地の件〕 国際ロータリー 第360区、第365区、第368区、第369区、第370区は、1966年度の地区大会を夫々岐阜市、堺市、高知市、山口市、宮崎市に於て開催することを決議する。

東日本連合地区年次大会

East Japan Joint Annual District Conference

東日本連合地区年次大会は、西日本の大会に先立って、去る10月11日より13日まで、昨秋東京オリンピックで有名な代々木競技場で開催されました。

大会第1日には皇太子殿下のご台臨を賜わり、大会参加者総数も実に8,283名という、まことに盛大な大会になり、大きな成果をあげて大成功裡に終了しました。

Farewell Poem by Charles Pettengill. Oct. 24, 1965.

ペッテンギルさんの惜別の詩

We visited Japan this year
At Sput Teenstra's request
To represent the President
And see you at your best.

スパット・ティーンストラ会長の求めに応じて

会長を代理して

今年我等日本を訪れ

大会にて皆様にお会いした

We had few friends before we came
With whom we had a tie
But now our friends are all around
We hate to say goodbye.

当地に来る前は

交りのある友は少なかった

しかし今や到る所に友を得た

そしてお別れするには実に苦しい

We found in Japan, Rotary
As strong as strong can be
With all its members working hard
And each in harmony.

日本のロータリークラブは

世界どの国も力強く

すべての会員は熱心で

なおかつよく協力一致している

To further service above self
And Interact Clubs too
Foundation Fellowships as well
Attendance records new.

自己を超えた奉仕

インタークトの活動の推進

財團の奨学生

他に比類のない出席率の保持

An overall outstanding job
Of Rotary clear thru
Few areas can do as well
I doff my hat to you.

全般的のロータリー活動

極めて優秀であり

他の地域でこれに勝るものは

少ない全く帽子をぬいで敬意を表します

Your fellowship is unexcelled
You're friendly and sincere
We'll not forget our visit here
We hold you all most dear.

皆様の友情は他に比類なく

皆様の御高配と誠意

一生を通じて忘れえない

常に皆様のあたたかき心をいただきつけます

We thank you for your thoughtful gifts
Kind hospitality
You've made us feel so much at home
And just like family.

皆様のお心のこもった贈物

あたたかい友情

我等を本当にうちとけさせた

あたかも家族の一人のごとく

Now we sadly bid adieu
To you each new found friend
Because like good things everywhere
Our visit here must end.

しかし今やお別れを告げねばなりません

すべての新しいお友達に

すべての良き事と同じく

我等の訪問も終りをつけねばなりませんから

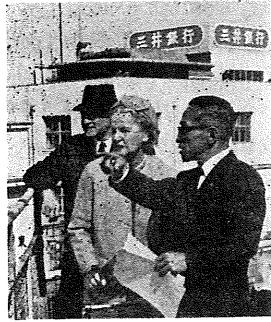
This world needs love we all agree
May Rotary heed the call
Here in Japan and lead the way
Goodbye! God bless you all.

世界は今や愛を必要とする

ロータリーもこの求めに応え

日本のロータリアンも世の指導者となられん事を
さよなら 神のお恵 皆様の上にあらん事を

R.I.会長代理ペッテンギル夫妻 360区を訪問
Mr. & Mrs. Pettengil, R.I. President Representative, Visit District 360.



名古屋祭を見物中の夫妻
勧業銀行屋上にて

R.I.会長代理として東西日本連合地区大会に出席された、ペッテンギルご夫妻は、東京から京都に向われる途中、3日間360区を訪問されました。その日程は次の通りですが、とくに16日、名古屋では偶々名古屋祭の三

傑行列を見物され、日本陶器工場の見学、八勝館に於ける名古屋R.C.接待レセプションなど、たいへん興味をもって一日を過ごされました。

翌17日は伊勢路に向われ、松阪和田金に於て松阪R.C.の招待昼食後、賢島ホテルの伊勢R.C.の招待レセプション、更に18日は鳥羽R.C.の接待で真珠島の見学や鳥羽国際ホテルに於けるレセプションなど、各地ロータリークラブの行き届いた接待にたいへん印象的な思い出の多い旅であったと、一方ならずお喜びになっておりました。名古屋、松阪、伊勢、鳥羽各R.C.の皆様に私からも心からお礼を申し上げます。

ペッテンギル夫妻の360区内の日程



名古屋市内見物の夫妻

随行担当：（名古屋地区） 盛田氏夫妻、鮎谷氏夫妻、神野夫妻、（伊勢地区） 九鬼氏、安野氏夫妻。

接待担当：（名古屋地区） 名古屋R.C.（伊勢地区） 松阪、伊勢、鳥羽、各R.C.

分区代理協議会
Group Representative Meeting.

去る10月21日、名古屋駅前ニューナゴヤホテルに於て、360地区分区代理の協議会を開きました。この会合には、九鬼、安野両パストガバナーもパイロット・プロジェクトのガバナー・エイドとしてご出席頂きました。360区内の分区代理は、事故のため、ご出席出来なかった柳沢長野県北信地区分区代理を除いて全員出席されました。

協議内容は、

- (1) 360区にパイロット・プロジェクトの指定を受けたことについての経過と内容についての説明
 - (2) 来年度の地区分割の申請を前提とした新クラブ結成(Extension)についての打合せ
 - (3) 151地区との交換についての方針の説明
- の3項目でした。荒川地区資金委員並びに堀田交換地区連絡委員にも列席して頂きました。

豊橋商業高校インターラク発足
**Toyohashi Commercial High School
INTERACT Club started.**

豊橋市の豊橋商業高校(前島又次校長)にインター アクト・クラブが生まれました。発会式は10月16日、市内の東海銀行豊橋支店に於て杉浦豊橋R.C.会長以下22名の会員、牧野諮問委員長、山本貞愛知県三河地区分区代理、前島又次校長と創立会員16名が出席して行なわれました。

同クラブの概要は次の通りです。

名 称	豊橋商業高校インターラク発足	
提唱 R.C.	豊橋 R.C.	
役員 会長	鈴木薰泰君	副会長 藤原 博君
幹事	仙波元雄君	会計 古橋広門君
理事	夏目好章君	理事 藤野純一君
理事	服部年雄君	



豊橋商業高校インターラク発会式

パイロット・プロジェクトの実施について

(R.I.理事会より360区を指定)

**Experiment in Pilot Project Tried.
(R.I. Directors Appoint District 360.)**

第360区の地区分割については、ご承知の通り、昨年松本市で開かれた第360区年次大会に於て、地区分割案が決議されており、安野直前ガバナーから国際ロータリー事務総長に申請手続をとられ、私も引き続きR.I.に対して、交渉を行なって参りました。

これに対してR.I.も、漸くこの地区的地理的条件や、クラブ数の増大による地区ガバナーの職務過重の実情を認められ、このほど理事会決定事項として、360区を新らしい地区運営計画の試験的計画(パイロット・プロジェクト)実施地区に指定し、早急に着手するよう勧告して参りました。

この地区運営計画は、1962年R.I.組織手続委員会が、R.I.理事会に勧告したもので“より大きな地区を対象に地区内を分割して、夫々ガバナー補佐をおき、地区ガバナーを援助する”というものであります。

R.I.理事会は、今回初めてこの提案をとりあげ、この計画を採用することが有効な結果を生むと考えられる地区を全世界で數ヶ所選定、試験的計画を実験することとなり、わが360区も日本でただ一つ、この地区に選ばれたのであります。

しかし、すでに本年度のスケジュールが始まっている現在では、実情にそぐわなかったり、採用が非常に困難な問題が多く含まれております。そこで、パスト・ガバナーやロータリーの大先輩の方々と協議した結果、R.I.に対し「本年度は地区ガバナーの方針とスケジュールが全て決定され、実行に移っている段階であり、またパスト・ガバナーも夫々年内のご計画が決定していて、ガバナー補佐として公式訪問をお願いすることは、極めて難かしい。したがって、パイロット・プロジェクトの採用は見合わせて頂きたい」と申入れました。

その後R.I.から「こちらの事情はよく解るが、ぜひ試験的に実施してほしい」と、幾度も申入れをうけましたので、パスト・ガバナーやその他の方々とも更にご相談を重ねた結果、次のような条件をつけて、実施する旨R.I.へ回答を致しました。したがって、内容的には大きな変化はありませんが、形式的にはパイロット・プロジェクト地区となりましたことをご承知おき下さい。

① 公式訪問はできる限り、地区ガバナーが行なう。

② 地区ガバナー補佐は、地区大会、その他の地区内諸集会、或いはロータリー・エクステンションについて協力する。

同時に、さる9月22日付で次の二人に地区ガバナー補佐(district governor aide)を委嘱致しましたので、お知らせ致します。

九鬼寿園パスト・ガバナー (四日市R.C.)

分担区域：三重、岐阜、石川、富山各県

クラブ数：36、仮クラブ1、結成準備中1

安野譲次パスト・ガバナー (一宮R.C.)

分担区域：愛知、長野両県

クラブ数：42、結成準備中2

パイロット・プロジェクトを実施する地区内クラブ運営手続(要旨) (R.I.理事会より提示されたもの)

〔責任者〕 地区ガバナーは地区内での国際ロータリーの責任ある役員であることに変わりない。

〔ガバナーの補佐〕 イ) 地区ガバナーは、自己の地区を2つのグループに分け、それぞれに地区内パスト・ガバナーのうちからガバナー補佐を指名する。

ロ) ガバナー補佐は自己のグループに関して、次の仕事をし地区ガバナーを補佐する。①グループ内の各クラブを公式訪問する。②クラブの相談相手となり指示を与える。③地区ガバナーの依頼に応じ特別援助する。

ハ) 地区ガバナーが個人的に補佐に希望する援助に加えて、地区内ガバナー補佐はチームとなり、地区ガバナーが希望し必要とみとめる地区内の諸問題に対して地区ガバナーと相談し援助する。

〔計画内の機能〕 地区運営及び地区ガバナーの職務に関しては、下記の通り制約が生じる。

イ) 地区ガバナー： 地区ガバナーは地区内クラブを直接監督する責任を持ちつけ、地区内各クラブの状況に個人的及び直接注意を払う。

ロ) 公式訪問： 地区ガバナーは各クラブを自分で訪問する責任はない。しかし自分がその補佐によって全クラブが訪問されたかどうかを見る責任はある。

ハ) 地区協議会： ①地区ガバナーは次期ガバナーと協力して地区協議会を計画し、実施する義務をもち続け、希望ならば補佐の援助をうることもできる。②地区的地理的範囲、その他の理由で地区内に於て1カ所以上の地区協議会を開催することが必要であり、望ましい場合がある。

ニ) 地区大会： 地区内で1回地区大会を開く。地区ガバナーは、補佐の援助を得て大会を計画し、それを司会する責任をもつ。

ホ) エクステンション： 地区ガバナーは地区内ロータリー・エクステンションに責任をもつが、補佐に対し正当かつ有効にその責任の一部を分担させることができる。たゞし、最終責任はガバナーが負う。

ヘ) マンスリー・レター： 地区ガバナーはマンスリー・レターの発行を継続する。

ト) 特別活動： 地区ガバナー補佐が公式訪問を行なうので、地区ガバナーは特別会合、インターナショナル会議、認証状伝達式、国際会合などのような付加的職務に従事することができる。

公式訪問雑感(4)

Remarks on My Official Visits (4)

10月は東西連合地区年次大会に出席、ペッテンギルR.I.会長代理ご夫妻の接待など、あわただしい月でしたが、長野、松本南を始め北信州の4クラブ（上田、丸子、小諸、軽井沢）を歴訪して、長野県下の公式訪問全部を終了しました。秋色漸く濃く、紅葉に包まれた北信州の山々を縫っての旅は、これまでの公式訪問中でも、最も印象の深い日程になりました。

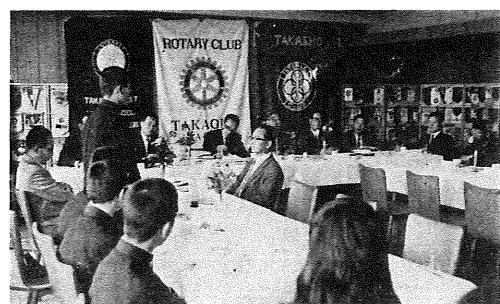
11月の初めには、高岡、魚津と初めて富山県を訪問しました。続いて岐阜県の各務原、岐阜南、岐阜、美濃と歴訪し、漸く360地区の52クラブを訪問したことになります。相変わらずスケジュールに無理があって、色々連絡やご返事が遅れ、各方面にご迷惑をかけたこと、恐縮に思っております。

長野地区

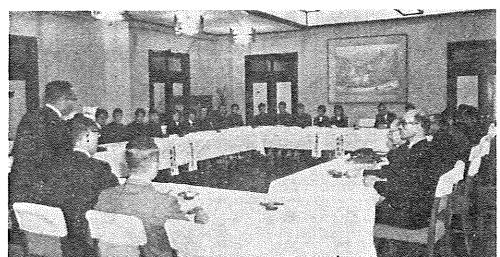
長野県は全国でも長い間ロータリー不毛の地といわれていましたが、10年ほど前、南信の松本、飯田から始まったロータリー拡大の火は、北信にも続々新クラブを生み、夫々地方色豊かなクラブに成長しつゝあることは頗もしい限りです。特に北信地区では、まだロータリー拡大が遅れ、将来新クラブの生れる余地が十分残され、歴訪したクラブが何れも近隣クラブの結成に大きな関心を持っておられました。1つの新クラブを生むことは、生れるために協力したクラブ自身を育てることにもなると思います。北信地区の将来のロータリー発展を心から祈り、また期待したいと思います。

富山県から岐阜県へ

高岡と岐阜ではインタークトクラブとの座談会を開いて頂きました。時間が十分なく、ゆっくり生徒諸君からお話をきくことが出来ませんでしたが、明るい希望と遠い夢に輝く若人との話は、私自身の夢をも実らせてくれます。まことに楽しいひとときでした。しかし、インタークトクラブがこれから立派に育って、自分たちの力で世界の若人と手を握りあうまでには、現在の日本では想像以上の困難と苦労があるものと思われます。関係クラブの一段のお骨折りをお願いしたいと思います。



高岡商業高校 高岡東高校 I.A.C. 会員との合同懇談会



岐阜商業高校 長良高校 I.A.C. 会員との合同懇談会

年次報告

今日まで各クラブを歴訪して、年間計画書の他に年次報告書を作成しておられるところが多くなってきたことを知りました。各委員会毎に年度末、過去1ヵ年間の足跡をふりかえり、その総決算ともいうべき年次報告をおつくりになることは、新年度の役員や委員長への引継ぎも順調に行われ、また次の年間計画をおたてになる為に最良の資料となること、思います。

従って簡素なものでもよろしいから、なるべく新年度計画に間に合うようおまとめになることがご便利だと思いました。



R.I. 第360区10月度出席率一覧表

順位	クラブ名	会員数	例会数	%	前月順位	前月会員数	増減	順位	クラブ名	会員数	例会数	%	前月順位	前月会員数	増減
1	岐阜南	66	4	100.00	8	66	0	45	高山	42	4	94.02	45	43	-1
1	駒ヶ根	53	4	100.00	1	53	0	46	岐阜半	75	5	93.99	49	76	-1
1	桑名	49	4	100.00	23	48	+1	47	田守山	59	4	93.97	43	59	0
1	西尾	39	4	100.00	28	39	0	48	名古屋守山	39	5	93.85	54	39	0
1	岡崎	34	5	100.00	13	35	-1								
1	豊橋	57	4	100.00	1	54	+3								
7	多治見	64	4	99.22	7	65	-1	49	美濃上辰	31	5	93.55	39	31	0
8	碧南	55	4	99.01	21	55	0	50	野北	57	4	93.42	47	57	0
9	名古屋東	47	4	98.94	15	47	0	51	宮一富	33	4	93.25	34	33	0
10	犬山	44	4	98.86	1	44	0	52	山西垣	47	5	92.76	42	44	+3
11	豊橋	64	4	98.78	27	64	0	53	東大金	79	4	92.71	58	79	0
12	蒲郡	52	5	98.46	22	52	0	54	澤尾	38	4	92.24	66	39	-1
13	蒲松	46	4	98.37	9	46	0	55	東西川	92	4	92.20	50	91	+1
13	豊田	47	4	98.37	9	46	+1	56	戸豊瀬	57	4	91.78	52	58	-1
15	飯田	61	4	98.36	12	62	-1	56	西瀬	40	4	91.78	63	40	0
16	名張	46	4	98.34	18	45	+1	58	沢西訪	41	4	91.46	41	41	0
17	岐阜西	59	4	98.31	14	59	0	59	屋名	42	5	91.43	65	42	0
18	高岡	60	4	98.30	1	60	0	60	七	43	5	91.00	60	45	-2
19	岐阜	58	4	98.27	20	58	0	61	魚大津	182	4	90.76	53	180	+2
20	四日市	38	4	98.01	17	37	+1	62	津那	43	5	90.50	33	40	+3
21	各務原	48	4	97.91	16	48	0	63	大津	46	5	90.43	73	46	0
22	中津川	45	4	97.89	55	45	0	64	伊羽	36	4	90.28	57	35	+1
23	島	46	5	97.76	26	45	+1	65	下呂	61	5	89.50	69	61	0
24	江南	33	4	97.72	1	33	0	66	那羽	40	4	89.38	67	40	0
25	名古屋西	94	4	97.71	24	94	0	66	下呂	32	5	89.38	71	32	0
26	岡崎	51	4	97.50	30	51	0	68	山南	33	5	89.09	62	34	-1
26	鈴鹿	40	4	97.50	40	40	0	69	松中	29	5	88.29	59	29	0
28	瑞穂	44	5	97.27	19	44	0	70	沢色	42	4	86.91	61	42	0
29	砺波	45	4	97.22	11	46	-1	71	島諸	31	4	86.29	77	31	0
30	松安	67	4	96.61	1	67	0	72	井澤	83	4	85.80	72	84	-1
31	上城	47	5	96.59	25	44	+3	73	島一輪	32	4	82.03	68	32	0
32	稻田	47	4	96.28	37	47	0	74	諸井	31	4	81.97	75	35	-4
33	沢谷	32	4	96.10	44	32	0	75	子	31	5	81.93	70	30	+1
34	岡宮	47	4	95.74	51	47	0	76	野子	28	4	81.25	78	28	0
35	一名古屋北	62	5	95.48	35	64	-2	77	長丸	42	4	80.35	74	39	+3
35	刈谷	62	5	95.48	29	61	+1	78	合計	32	4	75.77	76	32	0
37	刈谷	52	4	95.19	31	52	0								+11
38	四日市	90	4	94.93	36	90	0								
39	田原	34	5	94.69	64	34	0								
40	恵那	39	5	94.36	56	39	0								
40	松本	62	4	94.36	46	62	0								
42	名古屋南	70	4	94.29	32	70	0								
43	大垣	56	4	94.09	38	56	0								
44	伊勢	59	4	94.07	48	56	+3								

西ドイツ便り（その1）

Information About West Germany (Part 1)

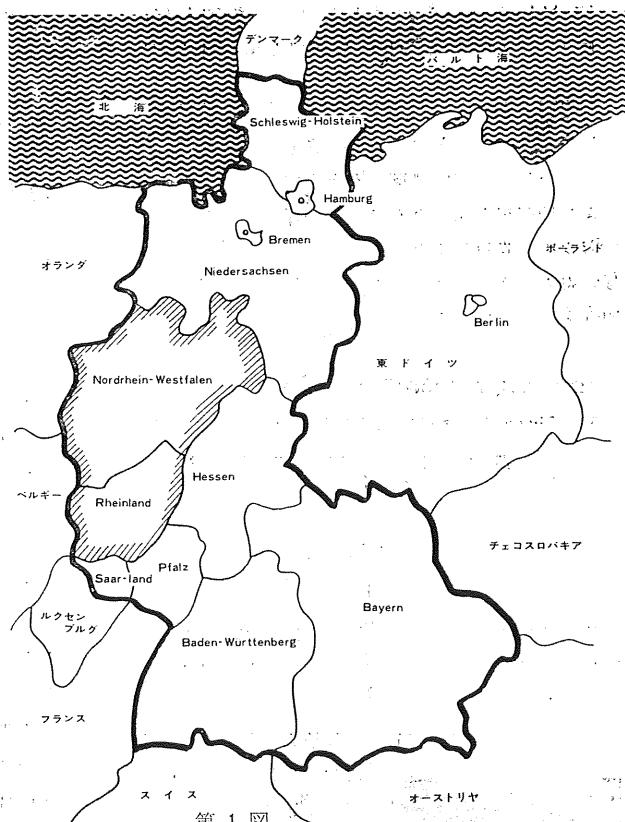
西ドイツ・マツヂ地区連絡委員

堀田一雄（名古屋R.C.）

本号から毎月この欄で西ドイツ便りを掲載します。それは西ドイツの151地区が私共のマッチ地区に指定されたからであります。

西ドイツの説明

西ドイツは正確には西ドイツ聯邦共和国と称します。昔のドイツが二分されて東ドイツと西ドイツとなり、西ドイツ諸州と東ドイツの中に孤立している西ベルリンとを合せて西ドイツ聯邦共和国（西ドイツ国）となりました。この西ドイツは、11の州から成り立っています。即ち第1図に示したように北から申しますとシュレスヴィッヒ・ホルスタイン州、ニーデルサクセン州、ノールドライン・ウエストファーレン州、ラインラント・فالツ州、ザールラント州、ヘッセン州、バーデン・ヴュルテンベルク州、バイエルン州と小さいハンブルグ州（市とその周辺）、ブレーメン州（市とその周辺）、それと西ベルリン特別市の11州



第1図

から成り立っています。

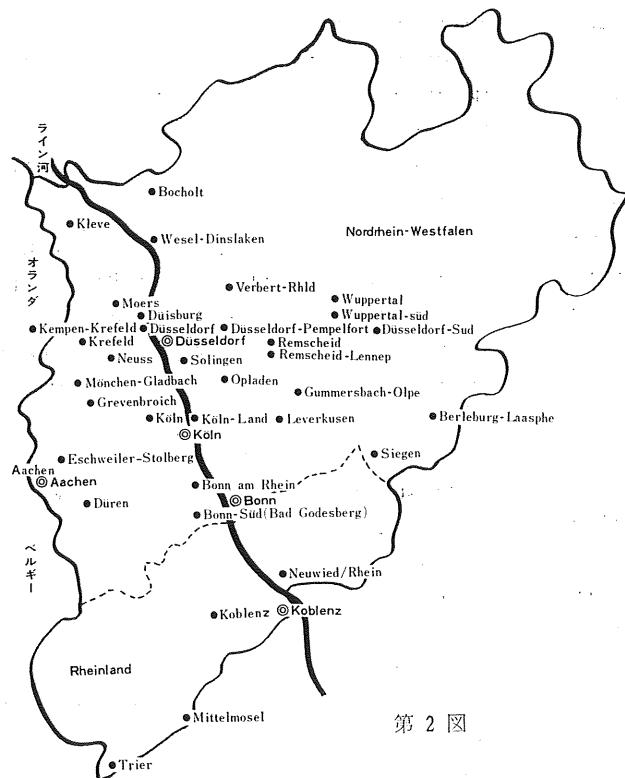
マッチ地区（第151地区）

この地区は第1図で御覧の通り西ドイツの西側中央に位して、ノールドライン・ウエストファーレン州とラインラント（ラインラント・ فالツ州の半分）から出来ています。第2図の通りライン河の両側にあります。その中心になる市が Düsseldorf デュッセルドルフ市で西ドイツの三大経済中心地の1つであります。西ドイツの政治の中心地 Bonn ボン市もこゝにあります。西ドイツ最大の Dom (教会) をもつ Köln ケルン市もこゝにあります。戦後西ドイツの発展は実にこゝに初まるという重大なところであります。

151地区のR.C.

35 R.C. あります。その名を北から申しますと、ボホルト、クレーベ、ウェーゼル、ディンスラーゲン、モエールス、ドゥルスブルグ、ケンペン・クレフェルド、クレフェルド、フェルベル(ドライン)、デュッセルドルフ、デュッセルドルフ・ペンペルト、デュッセルドルフ南

(以下次号へつづく)



第2図

第360区を育てたパストガバナーの紹介(4) Past Governors Who Brought up Dist. 360

宮脇富さんの次に60区のガバナーをお引受けになったのが、現在でも日本のロータリー文献の総元締としておなじみ深い柳瀬省吾さんです。

また柏原孫左衛門さんは、当地区内のクラブ結成や育成にお骨折り下さった方で、忘れる事の出来ない恩人です。パスト・ガバナー紹介欄で併せてご紹介することにしました。

1954～55年 R.I. 第60区ガバナー 柳瀬省吾さん Mr. Shogo Yanase R.I. Dist. 60 Governor 1954～55

以下は柳瀬さんの手記をお許しを得て一部省略して掲載しました。

私のロータリー歴

柳瀬省吾

私は昭和8年に、日本郵船名古屋支店長として赴任し、名古屋R.C.でロータリアンとして嘗々の声をあげた。

当時の名古屋R.C.は、皆な故人になっておられるが、先代伊藤次郎左衛門氏を始め、三井の中京鎮の矢田磧さん、藍川、神野、青木、滝藤、勝沼、豊田さん等、錚々たる連中ばかりで、入会するのもなかなかやかましかった。

その頃はロータリーについて教えて下さる方もないし、参考文献があるでもなし、ただ出席だけは相当やかましくて、毎月100%を持続した。バーナードショウではないが、食事のためにロータリー例会に行くという、まことに忠実ならざる会員であったことを、白状しなければならない。

昭和10年、米ニューヨーク支店長に赴任した。この時、名古屋R.C.から紹介状を頂いていたが、2・26事件、日支事変などが次々と勃発し、米国内の対日感情は、はなはだ面白からず、総領事館や在留邦人商社の間で、時局対策委員会ができ、連日協議や日本の立場の説明に多忙の日を送り、とてもR.C.へ入会する気持ちのゆとりがなかった。

昭和14年9月、横浜支店長として帰国、早速横浜R.C.に入会したが、ここも1年余で東京本社に転勤となった。日増しに戦争気分がみなぎり、軍部の

圧迫のために日本のR.C.は国際ロータリーから脱退の余儀なきに至ったことである。当時の横浜R.C.会長富山高工校長は、度々憲兵隊に呼び出され、そのご労苦は大変なものであった。

終戦後、私は日本郵船を辞めて、船舶運営会の理事長に就任、その後現在の横浜の倉庫会社社長に就任した。R.C.活動は、戦後しばらくはどこも何々クラブといった名前でR.C.を偲んで集っていたようで横浜もその例にもれず、同人会という名のもとに、毎火曜日、弁当持参で集っていた。昭和24年、日本ロータリーが国際復帰したとき、私ども横浜の同人会も7月に38名のチャーター・メンバーで復帰し、私も正式に再びR.C.会員となったのである。また26年7月には、復帰後3代目の会長に推された。

28年に手島R.I.理事、小林パストガバナーが横浜R.C.を訪問され、クラブ幹事に対して私を次期ガバナーに推薦された。全く寝耳に水で、大いに驚かされた。ちょうど、ロータリー50周年の記念の年でもあり、果して自分にできるかどうか分らなかつたが、手島さんも小林さんも助けてやるといわれるのを大胆にもお引受けした。

当時の日本は2つの地区に分れており、私の方は広い地域に70ものクラブがあった。ご両氏は、私がガバナーになる年には、4地区に分割される予定だといわれたが、結局1年延期となって任期中には実現せず、記念すべきゴールデン・ジュビリーの年の地区ガバナーの栄誉を、小菅ガバナーと2人だけで担つたのである。

ガバナー・ノミニー、ガバナー時代の思い出は数限りないが、その2、3を紹介しよう。

(1) レーク・プラシッドの国際協議会には、映画を撮るから、ロータリーの国際性を表わすために、自國の服装を持参せよとの命を受けたので、紋付羽織袴を持参したところ、レーク村を各国夫々の服装で漫歩しているところや、本会議の時最前列に座らされて撮影された。この映画の一部がニュースとして日本の殆んどの映画館で上映され、ロータリー一般情報の具に供せられたことは、嬉しくもあり恥かしくもあった。

(2) 京都に於ける全国地区連合大会に集まったクラブが147で100%，参加者数3,164名、当時としては驚くべき数であった。またR.I.会長代理がメルボルンの元R.I.会長アンガス・S・ミッケル氏、この方は戦後日本のR.C.の国際ロータリー復帰に好意を以って活動して頂いた大恩人であったことも忘れ難い。

(3) 何と申しても日本全国が2地区で、広範囲に渡り、交通機関も現在のように完備せず、旅行に多くの日数を要した。公式訪問の他に、50周年記念式典、チャーター伝達式など数え得ただけで112回も遠近の各地クラブを訪問したことになる。1年の%はロータリーで旅行していただろう。自分の本職を犠牲にしたこととはおびただしいものがあった。

しかし、その時の第60区が現在7地区に分れ、クラブ数も81から455と5倍、また会員数も3,300名から20,100名と7倍ほどと、驚くべき発展を來したものである。

ガバナーを了えてから今迄10年余の間「ロータリーの友」の委員長、R.I.計画委員会委員などをつとめ、1962年4月にはジョー・アベイ会長の代理として、香港における345区の地区大会に出席したこともある。現在はR.I.の文献代行者をすでに2年半もやっている。これはまさに責任の重い仕事で少々閉口している状態だ。

名古屋R.C.へ入会させて貰ってから32年を経過した。沢山の友人もでき、種々のサービスも引受けた。一生懸命やったつもりだが、果してお役に立ったかどうか、今後幾年続くか知らないが、過去を反省し能う限り世のため人のため努力を続けたいと思う。

柏原孫左衛門さん(東京R.C.会員)

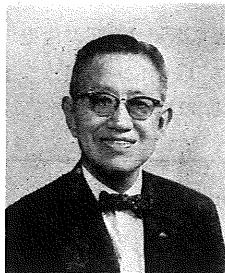
Mr. Magozaemon Kashiwabara R.I. Dist.355 Governor
1959-60 member of Tokyo R.C.

柏原さんのこと

柏原さんは、わが360区のロータリアンにはとくに印象が深い方です。

柏原さんは、戦後の初代ガバナー手島知健さん以来、歴代のガバナーエードとして、新クラブの誕生に尽力されました。直接特別代表になられたり、或いは陰で助力しお世話をされた、新クラブは全国で150以上にも及ぶとのことです。とりわけ、1959~60年の355区ガバナー在任中に、25の新クラブを作ったというレコードを持っておられ、R.C.結成の産婆役とも申すべき方であります。

わが360区でも、柏原さんが中心になってクラブ設立に努められたのは、津、伊勢、富山、松阪、高岡、桑名、上野、長野、丸子、小諸、軽井沢の各



R.C.、また陰の補佐役として指導に当られたのは、岐阜、一宮、豊橋、半田、蒲郡、飯田、豊橋北、上田、山中の各R.C.で、合せて20クラブが柏原さんのお世話を頂いております。

柏原さんのロータリー歴は、遠く昭和2年東京R.C.入会に始まり、爾来、戦中戦後の東京水曜俱楽部幹事としての御活躍、戦後的小松隆東京R.C.会長とのロータリー国際復帰協議会のお仕事などを始め、その多彩で精力的な御活躍ぶりの一端は、後掲したロータリー歴のとおりです。

その他、1959年のニューヨーク大会、61年の東京大会、62年のロスアンゼルス大会、64年のトロント大会に夫々出席され、とくに61年の東京大会では、ホストクラブの委員としての外国各クラブの出席督励に当られ、その結果出席者23,366人という最高記録を樹立したと聞いております。柏原さんのロータリー活動への献身ぶりをうかがうに恰好のエピソードだと思います。

ロータリアン仲間では、時々柏原さんは、ロータリー博士とか、ロータリーの神様とか言われるほど骨の髓までロータリーが身についた方です。その一面、親しい友人同志では、「バラさん」とか「孫さん」といった愛称で呼ばれる人間味豊かな雰囲気をもつ方です。

まさに日本のロータリアンの中では、貴重な存在といえましょう。

柏原孫左衛門さん

現住所 東京都世田谷区下馬町3-24

生年月日 明治30年3月7日

略歴

1897年 東京に生る
1916年 先代(祖父)死亡により柏原家10代目を継ぎ、前名
弥一郎を改め孫左衛門を襲名
1921年 慶應義塾大学理財学部卒業
1928年 松坂屋社長伊藤次郎左衛門令妹鉢子さんと結婚
現職 (株)柏原洋紙店取締役会長、(株)黒江度取締役
会長、三鷹不動産(株)取締役会長、その他柏原倉庫、
柏原ビル、丸栄商店等役員。
財團法人井沢会理事長、財團法人南ヶ丘会理事、
軽井沢ゴルフ俱楽部常務理事。

ロータリー歴

1927年 東京R.C.入会
1941~47年 東京水曜俱楽部幹事
1949年 東京R.C.幹事、在日R.I.財務代行者代理
1949~59年 地区資金委員
1950~51年 東京R.C.副会長
1951~52年 同会長
1958~59年 ロータリーの友副委員長
1959~60年 第355区ガバナー
1960~61年 R.I.カウンセラー
1964年 第369区広島大会R.I.会長代理

大会宿舎予約について Hotel Reservation at Denver Convention

次年度大会委員 Marlin K. Tabb 氏より大会宿舎予約に関する書信が参りました。以下にその概要をお知らせします。

1966年6月12日米国デンバー市で開催される1966年度大会への宿舎予約希望申込用紙はガバナー宛送ります。各クラブへは送りませんから、宿泊予約斡旋希望の方には、ガバナーより申込書をお受け取り下さい。尚、申込みは12月中旬頃迄にお願い致します。

貴地区内ロータリアンがデンバー大会に多数出席されることを希望し、デンバーでお会い出来ることを楽しみにしています。

青少年交換活動調査についてお願ひ Request of Report on Youth Exchange

国際ロータリー青少年委員長 John F. Van Coff 氏より1964~65年度の各クラブ青少年交換活動につき調査依頼がまいりました。後日同調査報告書用紙を各クラブへお送り致しますからご協力下さいようお願い致します。

奨学生の招聘

Invitation of Exchange Student

ジョージア州奨学資金財団 (Georgia Rotary Student Fund, Inc. of Dist. 690 & 692) 委員長ヒュー・トマス・Jr 氏より当360地区内クラブから留学生1名以上招聘したい旨來信がありました。18才から25才迄の独身学生で、男女を問わず、1カ年間ジョージア州内の大学で勉学を希望し、英語に堪能な者であればロータリアンの子弟でなくても資格があります。在学期間は1966年9月から1967年6月迄です。

申込〆切が本年末日迄になってますので希望者がありましたら至急ガバナー迄ご連絡下さい。なお、その他詳細はガバナー迄お尋ね下さい。

バナー交換希望 Exchange of Banner Requested

南米ブラジルのリオ・パルド R.C. より当地区内のクラブとバナー交換希望の書信がまいりました。

ご希望のクラブは下記へ直接お送り下さい。なお同クラブは1952年の創立、会員27名です。

Mr. Orly Ary Hermes, 1st Secretary
Rotary Club de Rio Pardo
Rio Grande do Sul, BRAZIL

印度よりクラブ交流を希望 Matched Club Desired by Indian Club

印度マハラシュトラ州デュリア R.C. のモハン・バルチャ会長より、クラブ交流希望の旨便りがありました。Dulia 町は Maharashtra 州境にある人口10万の農産物の中心地で、世界的に有名なエロラ及びアジェンダの洞窟が近くにあります。

私どもは下記のものを貴クラブと交換したいと希望しております。

- (1)色々な問題に関する考え方や意見（書面又は録音テープ）
- (2)音楽、演説の録音テープ
- (3)8mm映画
- (4)写真
- (5)雑誌。

また、印度の手芸品をお送りして、競売の上、売上金を有効な事業やクラブ活動に利用したいと思います。

以上の申出に対して、貴地区的クラブの中でご希望のものがありましたらお知らせ下さい。

住所： Rtn. M. S. Bhartiya
Dhulia, Maharashtra, India.

告 知 板 Message Board

行 事 予 定

11月21日(日) 江南R.C. チャーター伝達式

公 式 訪 問 予 定

11月15.16日	伊勢R.C.	12月3.4日	下呂R.C.
23.24日	輪島R.C.	5.6日	名張R.C.
24.25日	七尾R.C.	6.7日	上野R.C.
25.26日	富山南R.C.	7.8日	鈴鹿R.C.
26.27日	富山R.C.	9.10日	津R.C.
28.29日	砺波R.C.	10.11日	鳥羽R.C.
		12.13日	桑名R.C.

例 会 場 変 更

四日市北R.C. 11月30日より下記の会場に変更
(株)太道相互銀行富田支店 Tel. 52-2221

四日市市大字東富田430の21

Rotary International

国際ロータリー第360区 ガバナー事務所

豊橋市白河町100 中部瓦斯株式会社内

神野太郎

電話 豊橋 22-4113 22-5382
電略 カミノトヨハシ
取引銀行 東海銀行 豊橋支店